平磯白亜紀層（ひらいそはくあきそう）　－アンモナイト化石発見の地層－

ひたちなか市南東部の平磯町から磯崎町の海岸には，一様に北東の方向に 35～50 度傾斜した鋸歯状の岩が連続しています。この地層からはアンモナイトの化石が発見されており，中生代白亜紀の地層であることが確認されていますが，このアンモナイトには異常巻きと呼ばれるものがあるため，白亜紀終末期の今から 7500 万年前の地層であると考えられています。

また，最近この地層から翼竜（よくりゅう）の肩甲骨の化石も発見され，「ヒタチナカリュウ」と命名されました。

春から夏にかけて，磯遊びの場として家族ずれ等に人気があります。

昭和 32 年 6 月に，平磯町新道東地先海岸の一部が茨城県指定天然記念物に指定されています。